



平成 21 年 1 月 14 日

## ベンチャーファンドへの出資決定について

**中小機構は、ベンチャーファンド出資事業において、日本アジア投資株式会社を無限責任組合員とする投資事業有限責任組合に 20 億円の出資をすることを決定しました。**

独立行政法人中小企業基盤整備機構（以下、中小機構）は、新事業開拓促進出資事業（ベンチャーファンド出資事業）において、日本アジア投資株式会社を無限責任組合員とする投資事業有限責任組合に 20 億円の出資をすることを決定しました。

本組合は、日本国内のベンチャー企業へのエクイティによる資金提供及び、育成・支援を通じた企業価値向上を図るファンドとなっています。（詳細は別紙）

（参考）

新事業開拓促進出資事業の実績（ベンチャーファンド）

ファンド総数	ファンド総額	うち機構出資額	投資先企業数	公開企業数
83	133,518 億円	525 億円	2,020 社	91 社

- 1) ファンド総数・ファンド総額・機構出資額・公開先企業数は平成 20 年 11 月末現在の数値
- 2) 投資先企業数は平成 20 年 11 月末現在の延べ数値

（本件に関するお問合せ先）

独立行政法人 中小企業基盤整備機構

ファンド事業部 ファンド審査第一課 坂井、下郷、水上

電話：03-5470-1673（直通）

(別紙)

・ JAIC-IF4 号投資事業有限責任組合の概要

JAIC-IF4 号投資事業有限責任組合は、日本アジア投資株式会社（千代田区・立岡登與次代表取締役社長）を無限責任組合員として設立される投資事業有限責任組合です。本組合では、業種・地域を問わず日本国内の有望なベンチャー企業を投資対象とし、エクイティによる資金提供及び、育成・支援を通じた企業価値向上を図っていくことを活動方針としています。

本組合の出資総額は 60 億円（予定）となっており、中小機構が 20 億円の出資を行う予定です。

(参考)

## 新事業開拓促進出資事業（ベンチャーファンド）について

中小機構の新事業開拓促進出資事業は、国内の成長初期段階（アーリーステージ）にあるベンチャー企業に重点的に投資することにより、これらのベンチャー企業の資金調達を円滑化し、健全な成長発展を支援することを目的として平成10年度に開始されました。民間ベンチャーキャピタルが設立する「投資事業有限責任組合契約に関する法律」に基づくファンドへ、中小機構が出資総額の2分の1以内（地方公共団体が出資を行う場合には、地方公共団体の出資と合わせて2分の1以内）で、出資をしております。

### 【スキーム図】

